

いゅうがく館だより

令和3年3月号



ついに卒業シーズンですね。新しい環境に向けて大忙しのこの時期。ぼかぼかと暖かい日も続くいっぽう、急に冷え込むこともあります。体調に気を付けて過ごしたいですね。

第18回 龍郷町短歌・俳句・川柳コンクール

大賞作品発表!

【短歌部門】 中田 さつき さん

亡き父の 言わぬ厳しさ 言わぬ愛 思い出す度 あっばれあっばれ

【俳句部門】 嘉納 初枝 さん

引き返す 術なき月日 年惜しお

【俳句部門】 有川 彩菜 さん

コロナ禍で ふるさとさえも 遠ざける

今年は短歌 191 首、俳句 477 句、川柳 234 句 計 902 点のご応募がありました。

ご協力いただきました各学校の先生方、毎年このコンクールを楽しみに作品をお寄せくださる町民の皆様方にも厚く御礼申し上げます。

今年度は町民フェアが開催できませんでしたので、りゅうがく館内にて受賞作品を展示しております。

どうぞ足をお運びください。



おしらせ

生涯学習講座の受講生募集は3月1日(月)から4月2日(金)までとなっております。案内や申込用紙は各戸配布のほか、りゅうがく館にもございます。ご希望の方はお早めにお申し込みください。



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『パッションフルーツ』(米本 仁巳/農山漁村文化協会)
- 『きもの解体新書』(中谷 比佐子/春陽堂書店)
- 『ムラヨシマサユキのクッキー』(ムラヨシ マサユキ/西東社)
- 『天を測る』(今野 敏/講談社)
- 『スマホ脳』(アンデシュ・ハンセン/新潮社)
- 『農業に頼らずつくる虫といっしょに家庭菜園』(小川 幸夫/家の光協会)
- 『ヒトの言葉機械の言葉』(川添 愛/KADOKAWA)
- 『汚れた手をそこで拭かない』(芹沢 央/文藝春秋)
- 『くたゝ 起源考』(藤井 貞和/青土社) 他

《児童書》

- 『この恋は、ぜったいヒミツ。』(このはな さくら/スタート出版)
- 『ダーウィンのミミズの研究』(新妻 昭夫/福音館書店)
- 『いのちを救う災害時医療』(森村 尚登/河出書房新社)
- 『渋沢栄一と一万円札物語』(オフィス 303/ほるぷ出版)
- 『スーパービジュアル恐竜図鑑』(ジョン・ウッドワード/講談社)
- 『ウィルとはるのおきゃくさん』(リンダ・アシュマン/光村教育図書)
- 『こども統計学』(バウンド/カンゼン)
- 『あっぱっぷのぶ〜』(あいはら ひろゆき/サニーサイド)
- 『カシャッ!』(北村 人/ポプラ社) 他

今月のおすすめ本

《一般書》

『鹿児島県の歴史入門』(麓 純雄/南方新社)

鹿児島に人が住み始めたのはいつ?大隅半島に大規模古墳が多いのはなぜ?島津氏はいつ、どこからきたの?元・小学校の校長先生が教える鹿児島県の基礎知識。

『夜明けのすべて』(瀬尾 まいこ/水鈴社)

パニック障害の男性と、PMSに悩む女性。互いに恋も友情も感じていないけれど、おせっかい同士の二人。支えあいながら自分を取り戻していく心に優しい物語。

《児童書》

『ぼく、仮面ライダーになる! セイバー編』(のぶみ/講談社)

かんたろうは、仮面ライダーがだいすき。幼稚園でも、セイバーの剣を作っています。ある日、敵が現れて...? 『ぶっ飛び! 科学教室』(ヘレン・アーニー/化学同人) 右足を時計回りに回しながら、右手で数字の6が書けないのはなぜ?自分の体や身の回りにあるもので簡単にできる実験や気になるおもしろ科学ネタをたくさん紹介します。イギリスで科学ショーを行う著者たちに注目です!

